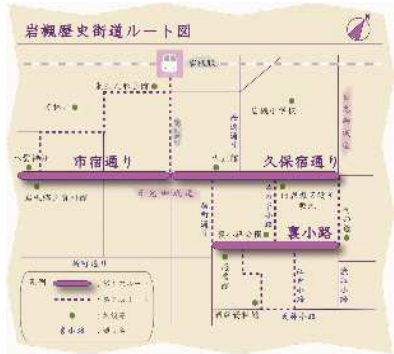


事業シート1			作成： 令和8 年 7 月			
取組テーマ		みがく	まちなみづくり		事業区分	継続
事業名	岩槻歴史街道事業		事業期間	～令和7年度	所管	都市局まちづくり推進部 岩槻まちづくり事務所
事業概要：				図・イメージ		
岩槻の歴史的・文化的資源を活用した地域特性の再構築の一環として、まちの成り立ちなどに意義のある既存道路の歴史的価値を見出し、まちなかに歴史を訪ね歩くルートを設定します。また、沿道建物や敷地の一部には歴史街道にふさわしいまちなみ景観を誘導し、ルート上の魅力向上を図ります。						
事業目標及び事業方針						
・先導的取組路線として位置付けた裏小路において、岩槻藩遷喬館や時の鐘などの地域資源を生かし、歴史街道にふさわしいまちなみ景観を誘導するなど、“まちなみづくり”と“みちづくり”を住民等と市の協働で推進します。また、次期整備路線の検討と地元組織化を進めます。						
事業計画（工程表）						
	R3		R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	（裏小路） 道路美装化に向けた協議・調整 （次の整備路線） 候補選定方針・方向性の検討		（裏小路） 道路美装化工事着手 （次の整備路線） 候補路線の地元調整	（裏小路） 道路美装化工事実施 （次の整備路線） 候補路線の地元意向確認、路線選定	（裏小路） 道路美装化工事竣工 （次の整備路線） 地元組織化準備	— （次の整備路線） 地元組織化
取組実績	（裏小路） 道路美装化に向けた協議・調整 （次の整備路線） 候補選定方針・方向性の検討		（裏小路） 道路美装化工事着手 （次の整備路線） 候補路線の地元調整	（裏小路） 道路美装化工事実施 （次の整備路線） 候補路線の地元意向確認、路線選定	（裏小路） 道路美装化工事実施 （次の整備路線） 地元組織化準備	（裏小路） 道路美装化工事実施 （次の整備路線） 地元組織化準備
実績評価	B		B	B	C	C
実績評価の理由	道路美装化に向け、関係部署及び関係事業者と協議・調整を実施しました。また、測量業務を行い、設計作業を進めました。		道路美装化工事として、既存の照明灯具を和風灯具に交換する工事を実施しました。また、次期整備候補路線の地元関係者と意見交換を行いました。	道路美装化工事として、岩槻人形博物館の南側約210mについて舗装の打替え、側溝蓋交換等を実施しました。また、次期整備路線について、地元関係者に意向確認を行いました。	道路美装化工事として、約190mについて舗装の打替え、側溝蓋交換等を実施し、全延長約550mのうち約400mが完了しました。また、次期整備路線について、地元組織化に向けて準備を行いました。	道路美装化工事として、約100mについて舗装の打替え、側溝蓋交換等を実施し、全延長約550mのうち約500mが完了しました。また、次期整備路線について、地元組織化に向けて準備を行いました。

事業シート2				作成：令和8 年 7 月			
取組テーマ		みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続	
事業名		時の鐘等保存活用		事業期間	～令和7年度	所管	教育委員会生涯学習部 文化財保護課
事業概要：				図・イメージ			
貴重な文化財・歴史資源を継承し、地域資源として活用できるように時の鐘・岩槻城城門の環境整備を継続して実施します。その際、地域資源の魅力向上を図るため、情報発信の多角化を進めます。							
事業目標及び事業方針							
・地域資源の魅力向上のため、環境整備として岩槻城城門の囲い柵を2件整備します。また、5年間で5基の説明板を多言語表記にします。							
事業計画（工程表）							
	R3		R4	R5	R6	R7	
取組内容 目標値		岩槻城門「黒門」 「裏門」の囲い柵の整備 説明板の多言語表記の計画を作成		説明板の多言語表記2基	説明板の多言語表記1基	説明板の多言語表記1基	説明板の多言語表記1基
取組実績		岩槻城門「黒門」 「裏門」について森林環境整備基金を財源とし囲い柵を設置しました。また、説明板設置に関わる事業費確保のため、国土交通省の補助制度まちなかウォークアップ事業を利用する計画を立てました。		「時の鐘」の説明板の2基のほか、「岩槻郷土資料館」、「岩槻藩遷斎館」を含めて合計4基の案内板について多言語表記の説明板を設置することが出来ました。	願生寺「阿弥陀三尊 図像月待供養板碑」1基の案内板について多言語表記の説明板を設置することが出来ました。	芳林寺「太田氏資宝 篋印塔」1基の案内板について多言語表記の説明板を設置することが出来ました。	愛宕神社「岩槻城大櫓」1基の案内板について多言語表記の説明板を設置することが出来ました。
実績評価		B		A	B	B	B
実績評価の理由		財源の捻出などに関して他の機関との連携を図り、概ね目標を達成できたと評価できます。		案内板の設置について、目標を上回る数値を達成することが出来ました。	案内板の設置について、目標を達成することができたと評価できます。	案内板の設置について、目標を達成することができたと評価できます。	案内板の設置について、目標を達成することができたと評価できます。

事業シート3			作成： 令和8 年 7 月			
取組テーマ		みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続
事業名	岩槻藩遷喬館保存活用		事業期間	～令和7年度	所管	教育委員会生涯学習部博物館
事業概要：				図・イメージ		
埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を後世に伝えるため、適切な保存に努め、また、県内に唯一残る江戸時代の藩校の建物としての歴史を踏まえた事業を行います。						
事業目標及び事業方針						
・新型コロナウイルス感染症の拡大や茅葺屋根修繕に伴う臨時休館等により、第2期計画期間の年平均来館者数は5,280人と減少しました。引き続き、第2期計画期間の目標であった年間来館者数7,100人までの拡大を目指します。現地での事業や、地元行事である「まちかど雛めぐり」等での活用における連携のほか、動画やWEB等の様々なコンテンツを介して、より多くの市民の方々に岩槻藩遷喬館の魅力を伝えます。						
事業計画（工程表）						
	R3	R4	R5	R6	R7	
取組内容 目標値	・埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を適切に保存し、県内唯一現存する藩校としての特性を踏まえた事業を行い、岩槻地域の歴史と文化の発信に努める。 ・目標年間来館者数：5,900人	・埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を適切に保存し、県内唯一現存する藩校としての特性を踏まえた事業を行い、岩槻地域の歴史と文化の発信に努める。 ・目標年間来館者数：6,200人	・埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を適切に保存し、県内唯一現存する藩校としての特性を踏まえた事業を行い、岩槻地域の歴史と文化の発信に努める。 ・目標年間来館者数：6,500人	・埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を適切に保存し、県内唯一現存する藩校としての特性を踏まえた事業を行い、岩槻地域の歴史と文化の発信に努める。 ・目標年間来館者数：6,800人	・埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を適切に保存し、県内唯一現存する藩校としての特性を踏まえた事業を行い、岩槻地域の歴史と文化の発信に努める。 ・目標年間来館者数：7,100人	
取組実績	・岩槻藩遷喬館を適切に保存するため、茅葺屋根燻蒸などを実施しました。 ・歴史と文化の発信のため、「まちかど雛めぐり」期間中の人形の展示などを行いました。 ・年間来館者数：6,020人	・岩槻藩遷喬館を適切に保存するため、茅葺屋根燻蒸などを実施しました。 ・歴史と文化の発信のため、「まちかど雛めぐり」期間中の人形の展示などを行いました。 ・年間来館者数：7,035人	・岩槻藩遷喬館を適切に保存するため、茅葺屋根燻蒸などを実施しました。 ・歴史と文化の発信のため、「まちかど雛めぐり」期間中の人形の展示などを行いました。 ・年間来館者数：8,358人	・岩槻藩遷喬館を適切に保存するため、茅葺屋根燻蒸などを実施しました。 ・歴史と文化の発信のため、「まちかど雛めぐり」期間中の人形の展示などを行いました。 ・年間来館者数：9,657人	・岩槻藩遷喬館を適切に保存するため、茅葺屋根燻蒸などを実施しました。 ・歴史と文化の発信のため、「まちかど雛めぐり」期間中の人形の展示などを行いました。 ・年間来館者数：7,021人	
実績評価	A	A	A	A	B	
実績評価の理由	・年間来館者数は目標を上回りました。 ・今後も岩槻藩遷喬館を適切に保存していくとともに、岩槻地域の歴史と文化を発信する事業の実施に取り組んでいきます。	・年間来館者数は目標を上回りました。 ・今後も岩槻藩遷喬館を適切に保存していくとともに、岩槻地域の歴史と文化を発信する事業の実施に取り組んでいきます。	・年間来館者数は目標を上回りました。 ・今後も岩槻藩遷喬館を適切に保存していくとともに、岩槻地域の歴史と文化を発信する事業の実施に取り組んでいきます。	・年間来館者数は目標を上回りました。 ・今後も岩槻藩遷喬館を適切に保存していくとともに、岩槻地域の歴史と文化を発信する事業の実施に取り組んでいきます。	・年間来館者数は目標の約99%となりました。 ・休日に雨天が多かった点や、酷暑の日が多かった点により、周遊する人が少なかったことが原因として考えられます。 ・今後も岩槻藩遷喬館を適切に保存していくとともに、岩槻地域の歴史と文化を発信する事業の実施に取り組んでいきます。	

事業シート4				作成： 令和8 年 7 月							
取組テーマ		みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続					
事業名		岩槻郷土資料館保存活用		事業期間	～令和7年度	所管 教育委員会生涯学習部 博物館					
事業概要：				図・イメージ							
昭和5年に建築された昭和初期の建築様式が残る旧岩槻警察署の建物を保存し、岩槻地域の歴史資料を展示するなど活用に努めます											
事業目標及び事業方針											
・新型コロナウイルス感染症の拡大等により、第2期計画期間の年平均来館者数は4,628人と減少しました。引き続き、第2期計画期間の目標であった年間来館者数7,100人までの拡大を目指します。館内の展示、イベントや、地元行事である「まちかど難めぐり」等での活用における連携のほか、動画やWEB等の様々なコンテンツを介して、より多くの市民の方々に岩槻郷土資料館の魅力を伝えます。											
事業計画（工程表）											
	R3		R4		R5		R6		R7		
取組内容 目標値		・保存に必要な維持管理を行うとともに、郷土の歴史・文化を普及啓発するため、当該事業の充実を図る。 ・目標年間来館者数：5,900人		・保存に必要な維持管理を行うとともに、郷土の歴史・文化を普及啓発するため、当該事業の充実を図る。 ・目標年間来館者数：6,200人		・保存に必要な維持管理を行うとともに、郷土の歴史・文化を普及啓発するため、当該事業の充実を図る。 ・目標年間来館者数：6,500人		・保存に必要な維持管理を行うとともに、郷土の歴史・文化を普及啓発するため、当該事業の充実を図る。 ・目標年間来館者数：6,800人		・保存に必要な維持管理を行うとともに、郷土の歴史・文化を普及啓発するため、当該事業の充実を図る。 ・目標年間来館者数：7,100人	
取組実績		・岩槻郷土資料館を適切に保存するため、維持管理を行いました。 ・歴史と文化の発信のため、企画展示、講座「さいたまを知ろう」などを行いました。 ・年間来館者数：3,921人		・岩槻郷土資料館を適切に保存するため、維持管理を行いました。 ・歴史と文化の発信のため、企画展示及び関連講座、講座「さいたまを知ろう」などを行いました。 ・年間来館者数：4,003人		・岩槻郷土資料館を適切に保存するため、維持管理を行いました。 ・歴史と文化の発信のため、企画展示及び関連講座、講座「さいたまを知ろう」などを行いました。 ・年間来館者数：5,682人		・岩槻郷土資料館を適切に保存するため、維持管理を行いました。 ・歴史と文化の発信のため、企画展示及び関連講座、講座「さいたまを知ろう」などを行いました。 ・年間来館者数：8,439人		・岩槻郷土資料館を適切に保存するため、維持管理を行いました。 ・歴史と文化の発信のため、企画展示及び関連講座、講座「さいたまを知ろう」などを行いました。 ・年間来館者数：5,814人	
実績評価		C		C		B		A		B	
実績評価の理由		・来館者数は目標の66%となりました。 ・近隣民間施設の開館や体験学習の見合わせなどが原因として考えられます。引き続き、郷土の歴史と文化の発信のため、魅力ある事業を行っていきます。		・来館者数は目標の65%となりました。 ・団体見学や体験学習の見合わせなどが原因として考えられます。引き続き、郷土の歴史と文化の発信のため、魅力ある事業を行っていきます。		・来館者数は目標の約92%となりました。 ・団体見学や体験学習が再開され、平成30年度以前の水準に復していますが、目標値には到達していませんでした。引き続き、魅力ある事業を行っていきます。		・年間来館者数は目標を上回りました。 ・企画展やスタンプラリーが好評で来館者数が増加しました。引き続き岩槻郷土資料館を適切に保存していくとともに、魅力ある事業を行っていきます。		・年間来館者数は目標の約82%となりました。 ・R7年度は企画展・スタンプラリーとともに実施したものの、R6年度の水準には及びませんでした。引き続き岩槻郷土資料館を適切に保存していくとともに、魅力ある事業を行っていきます。	

事業シート5				作成： 令和8 年 7 月						
取組テーマ		みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続				
事業名	登録有形文化財の活用		事業期間	～令和7年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室 コミュニティ課				
事業概要：				図・イメージ						
国の登録有形文化財に指定され歴史的な価値が高い長谷川家見世蔵（明治）・東玉大正館（大正）・岩槻郷土資料館（昭和）等のPRを行うとともに活用方法を検討します。										
事業目標及び事業方針										
・国の登録有形文化財に指定されている長谷川家見世蔵、東玉大正館、岩槻郷土資料館等の活用を行います。活用するためにPRを実施します。										
事業計画（工程表）										
	R3		R4		R5		R6		R7	
取組内容 目標値	岩槻散策マップの配布枚数 8,000枚		岩槻散策マップの配布枚数 8,500枚		岩槻散策マップの配布枚数 9,000枚		岩槻散策マップの配布枚数 9,500枚		岩槻散策マップの配布枚数 10,000枚	
取組実績	岩槻散策マップの配布枚数 8,700枚		岩槻散策マップの配布枚数 17,300枚		岩槻散策マップの配布枚数 13,600枚		岩槻散策マップの配布枚数 26,300枚		岩槻散策マップの配布枚数 27,000枚	
実績評価	A		A		A		A		A	
実績評価の理由	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等後に岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。		新型コロナウイルス感染症の行動制限が終わり、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。		新型コロナウイルスの感染症法上の分類が引き下げられ、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。		ウェブサイト、SNS等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。		ウェブサイト、SNS等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	

事業シート6				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続
事業名	人形のまち岩槻流しびな	事業期間	～令和7年度	所管	経済局商工観光部 商業振興課
事業概要： 「人形のまち岩槻流しびな」を実施する岩槻人形協同組合に対し、補助金を交付します。 【人形のまち岩槻流しびな】 概要：ひな人形の原型とも伝わる「さん儀」に子どもたちの無病息災を託して池に流す春の風物行事 開催場所：岩槻城址公園 菖蒲池周辺 【補助金等交付要綱名】 ・さいたま市商工業団体等事業補助金交付要綱			図・イメージ 		
事業目標及び事業方針 ・国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」により認定を受けた振興計画に基づき岩槻人形協同組合が実施する事業に対し、補助金を交付します。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対する補助金交付	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対する補助金交付	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対する補助金交付	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対する補助金交付	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対する補助金交付
取組実績	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付しました。	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付しました。	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付しました。	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付しました。	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付しました。
実績評価	B	B	B	B	B
実績評価の理由	計画どおり補助金を交付しました。引き続き、国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付していきます。	計画どおり補助金を交付しました。引き続き、国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付していきます。	計画どおり補助金を交付しました。引き続き、国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付していきます。	計画どおり補助金を交付しました。引き続き、国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付していきます。	計画どおり補助金を交付しました。引き続き、国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付していきます。

事業シート7			作成： 令和8 年 7 月			
取組テーマ		みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続
事業名	人形のまち岩槻まちかど雛めぐり		事業期間	～令和7年度	所管	岩槻区区民生活部 コミュニティ課
事業概要：				図・イメージ		
「人形のまち岩槻まちかど雛めぐり」を実施する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会に対し、補助金を交付します。 【人形のまち岩槻まちかど雛めぐり】 概要：岩槻の中心市街地・商店街を活性化することや、城下町岩槻の観光資源である伝統的工芸品の人形を広く発信することを目的とし、区民が主体となり開催します。 【補助金等交付要綱名】 ・まちかど雛めぐり事業補助金交付要綱						
事業目標及び事業方針						
・新たな関連イベントを取り入れる等、イベントの魅力を高め、来場者の満足度向上を目指します。 ・区民が中心となって事業を進め、区は補助金交付等の支援をするなど、協働のまちづくりを推進していきます。						
事業計画（工程表）						
	R3	R4	R5	R6	R7	
取組内容 目標値	岩槻の観光資源を発信する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会の実施事業に対する補助金交付	岩槻の観光資源を発信する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会の実施事業に対する補助金交付	岩槻の観光資源を発信する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会の実施事業に対する補助金交付	岩槻の観光資源を発信する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会の実施事業に対する補助金交付	岩槻の観光資源を発信する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会の実施事業に対する補助金交付	
取組実績	令和4年2月19日～3月6日に開催した「第19回人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり」は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部イベントが中止となりましたが、約10,000人の来場がありました。	令和5年2月23日～3月12日に開催した「第20回人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり」は岩槻駅東口周辺を中心に地元商家に伝わる人形展示や人形・つるし雛大展示会など様々なイベントを行い、約20,000人の来場がありました。	令和6年2月23日～3月10日に開催した「第21回人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり」は「観る・創る・食べる」をテーマに岩槻駅東口周辺を中心に地元商家に伝わる人形展示や製作体験など様々なイベントを行い、約25,000人の来場がありました。	令和7年2月22日～3月9日に開催した「第22回人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり」は「観る・創る・食べる」をテーマに岩槻駅東口周辺を中心に地元商家に伝わる人形展示や製作体験など様々なイベントを行い、約23,000人の来場がありました。	令和8年2月21日～3月8日に開催した「第23回人形のまち岩槻 まちかど雛めぐり」は「観る・創る・食べる」をテーマに岩槻駅東口周辺を中心に地元商家に伝わる人形展示や製作体験など様々なイベントを行い、約23,000人の来場がありました。	
実績評価	B	B	B	B	B	
実績評価の理由	城下町・人形のまちという地域資源を活かし、区の内外から来訪者があり、岩槻の人形文化の魅力を感じていただくことができました。	城下町・人形のまちという地域資源を活かし、区の内外から来訪者があり、岩槻の人形文化の魅力を感じていただくことができました。	城下町・人形のまちという地域資源を活かし、区の内外から来訪者があり、岩槻の人形文化の魅力を感じていただくことができました。	城下町・人形のまちという地域資源を活かし、区の内外から来訪者があり、岩槻の人形文化の魅力を感じていただくことができました。	城下町・人形のまちという地域資源を活かし、区の内外から来訪者があり、岩槻の人形文化の魅力を感じていただくことができました。	

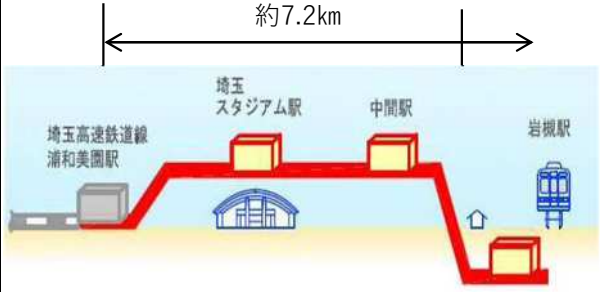
事業シート8			作成： 令和8 年 7 月			
取組テーマ		みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続
事業名	まつりによるにぎわいの創出		事業期間	～令和7年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室
事業概要：				図・イメージ		
「人形のまち岩槻まつり」や「城下町岩槻鷹狩り行列」等の開催支援やPRを行うことで、歴史と文化のまち岩槻の魅力をPRし、地域のにぎわい創出を図ります。 【補助金等交付要綱名】 - さいたま市観光団体事業補助金交付要綱 - 岩槻区城下町岩槻鷹狩り行列事業補助金交付要綱等						
事業目標及び事業方針						
・まつりを開催することで、地域のにぎわい創出を行います。事業は実行委員会等が中心となって実施し、区は補助金交付等の支援を行うなど、協働のまちづくりを推進していきます。						
事業計画（工程表）						
	R3	R4	R5	R6	R7	
取組内容 目標値	・まつりの来場者数 139,000人	・まつりの来場者数 139,000人	・まつりの来場者数 139,500人	・まつりの来場者数 139,500人	・まつりの来場者数 140,000人	
取組実績	・まつりの来場者数 0人	・まつりの来場者数 67,000人	・まつりの来場者数 168,000人	・まつりの来場者数 179,000人	・まつりの来場者数 150,500人	
実績評価	-	C	A	A	A	
実績評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「人形のまち岩槻まつり」及び「城下町岩槻鷹狩り行列」が開催中止となりました。	「城下町岩槻鷹狩り行列」は前回を超える来場者があったが、「人形のまち岩槻まつり」が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日時変更及び規模縮小を行ったため、目標を下回りました。	新型コロナウイルスの感染症法上の分類が引き下げられ、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS及び中吊り広告等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS及び中吊り広告等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	

事業シート9				作成： 令和8 年 7 月						
取組テーマ		みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	新規				
事業名	真福寺貝塚保存活用		事業期間	～令和7年度	所管	教育委員会生涯学習部 文化財保護課				
事業概要：				図・イメージ						
国指定史跡「真福寺貝塚」の価値を損なうことなく将来へ継承するとともに、史跡の活用を図り、地域資源の魅力向上のため、整備を進めていきます。										
										
				出土した土偶						
				発掘調査						
事業目標及び事業方針										
・史跡整備に向けて、史跡の価値を明らかにするための発掘調査を行い、その後、調査成果である調査報告書刊行のために出土品整理を実施します。また、その調査成果を踏まえ、年度ごとに現地見学会を開催して、最新の発掘成果を報告します。										
事業計画（工程表）										
	R3		R4		R5		R6		R7	
取組内容 目標値	整備のための発掘調査（泥炭層境と泥炭層地点発掘調査）および現地見学会 参加者100人		整備のための発掘調査（仮設置工事、泥炭層地点発掘調査）および現地見学会 参加者100人		整備のための発掘調査（泥炭層地点発掘調査）および現地見学会 参加者100人		整備のための発掘調査（泥炭層地点発掘調査、出土品整理）および現地見学会 参加者100人		整備のための発掘調査（泥炭層地点発掘調査、出土品整理）および現地見学会 参加者100人	
取組実績	整備のための発掘調査を予定通り実施するとともに、調査成果を現地見学会にて公開しました。 参加者182人		整備のための発掘調査を予定通り実施するとともに、調査成果を現地見学会にて公開しました。 参加者150人		整備のための発掘調査を予定通り実施するとともに、調査成果を現地見学会にて公開しました。 参加者405人		整備のための発掘調査を予定通り実施するとともに、調査成果を現地見学会にて公開しました。 参加者283人		整備のための発掘調査を予定通り実施するとともに、調査成果を現地見学会にて公開しました。 参加者280人	
実績評価	B		B		B		B		B	
実績評価の理由	予定していた目標を概ね達成できたと評価できます。引き続き、整備のための発掘調査を続けながら真福寺貝塚の価値を広く周知する事業を実施していきます。		予定していた目標を概ね達成できたと評価できます。引き続き、整備のための発掘調査を続けながら真福寺貝塚の価値を広く周知する事業を実施していきます。		予定していた目標を概ね達成できたと評価できます。引き続き、整備のための発掘調査を続けながら真福寺貝塚の価値を広く周知する事業を実施していきます。		予定していた目標を概ね達成できたと評価できます。引き続き、整備のための発掘調査を続けながら真福寺貝塚の価値を広く周知する事業を実施していきます。		予定していた目標を概ね達成できたと評価できます。引き続き、整備のための発掘調査を続けながら真福寺貝塚の価値を広く周知する事業を実施していきます。	

事業シート１０				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	つなぐ	地域をつなぐ交通環境の向上		事業区分	継続
事業名	自転車を活用した観光の推進	事業期間	～令和7年度	所管	都市局交通政策部 自転車まちづくり推進課 建設局土木部 道路環境課
事業概要：			図・イメージ		
地域の商業施設と連携し、サイクリング中に休憩で立ち寄ることができる施設を認定します。また、新たな都市交通システムとしてのシェアサイクルの利用促進・エリア拡大及びシェアサイクルを活用した観光を推進します。					
事業目標及び事業方針					
・シェアサイクルの利用促進及びエリア拡大、サイクルサポート施設の募集を継続的に実施し、自転車を活用した賑わいのあるまちづくりを目指します。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	・シェアサイクルの利用促進及びエリア拡大 ・サイクルサポート施設の認定・設置	・シェアサイクルの利用促進及びエリア拡大 ・サイクルサポート施設の認定・設置	・シェアサイクルの利用促進及びエリア拡大 ・サイクルサポート施設の認定・設置	・シェアサイクルの利用促進及びエリア拡大 ・サイクルサポート施設の認定・設置	・シェアサイクルの利用促進及びエリア拡大 ・サイクルサポート施設の認定・設置
取組実績	・シェアサイクル普及のため市内ポートの新設を進めました。（公有地等ポート新設19件） ・サイクルサポート施設を新たに11箇所認定しました。	・シェアサイクル普及のため市内ポートの新設を進めました。（公有地等ポート新設7件） ・サイクルサポート施設を新たに7箇所認定しました。	・シェアサイクル普及のため市内ポートの新設を進めました。（公有地等ポート新設11件） ・サイクルサポート施設を新たに6箇所認定しました。	・シェアサイクル普及のため市内ポートの新設を進めました。（公有地等ポート新設10件） ・サイクルサポート施設を新たに3箇所認定しました。	・シェアサイクル普及のため市内ポートの新設を進めました。（公有地等ポート新設5件） ・サイクルサポート施設を新たに3箇所認定しました。
実績評価	B	B	B	B	B
実績評価の理由	・シェアサイクルポート新設により、シェアサイクル普及促進の目標を概ね達成しました。 ・サイクルサポート施設の新たに11箇所認定し、目標を達成しました。	・シェアサイクルポート新設により、シェアサイクル普及促進の目標を概ね達成しました。 ・サイクルサポート施設の新たに7箇所認定し、目標を達成しました。	・シェアサイクルポート新設により、シェアサイクル普及促進の目標を概ね達成しました。 ・サイクルサポート施設の新たに6箇所認定し、目標を達成しました。	・シェアサイクルポート新設により、シェアサイクル普及促進の目標を概ね達成しました。 ・サイクルサポート施設の新たに3箇所認定し、目標を達成しました。	・シェアサイクルポート新設により、シェアサイクル普及促進の目標を概ね達成しました。 ・サイクルサポート施設の新たに3箇所認定し、目標を達成しました。

事業シート11				作成： 令和8 年 7 月		
取組テーマ		つなぐ	地域をつなぐ交通環境の向上		事業区分	継続
事業名	自転車ネットワークの整備推進		事業期間	～令和7年度	所管	都市局交通政策部 自転車まちづくり推進課 建設局土木部 道路環境課
事業概要：				図・イメージ		
安全で快適な自転車通行環境を効果的、効率的に整備するため、自転車の利用が多い道路や施設を考慮し、具体的な路線の選定、整備形態及びスケジュールをまとめた「自転車ネットワーク整備計画」に基づき、自転車通行環境の整備を推進します。						
事業目標及び事業方針						
・第2期計画期間に引続き整備を推進し、令和7年度までに市内全体で約245kmの自転車通行環境整備を実施します。整備は自転車利用者の多い駅周辺の路線のほか、自転車通行環境整備済み路線との連続性が確保できる路線等を優先的に進めながら、広域的ネットワークを構築します。						
事業計画（工程表）						
	R3		R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	さいたま市自転車ネットワーク整備計画改定の検討 自転車通行環境整備20km（総延長180km）		さいたま市自転車ネットワーク整備計画改定の検討 自転車通行環境整備20km（総延長200km）	さいたま市自転車ネットワーク整備計画の改定 自転車通行環境整備15km（総延長215km）	自転車通行環境整備15km（総延長230km）	自転車通行環境整備15km（総延長245km）
取組実績	さいたま市自転車ネットワーク整備計画の改定に先立ち、現計画による自転車通行環境整備の効果等を検証し、中間とりまとめを行い、関係者と共有しました。 自転車通行環境整備については、23km（総延長178km）の整備を実施しました。		次期計画において計画通りに整備が進められるよう、道路幅員が狭い等の理由から警察協議が整わない路線を減らすため、試験施工を実施しました。（効果検証は令和5年度第一四半期予定） 自転車通行環境整備については、19km（総延長197km）の整備を実施しました。	交通管理者等との調整に時間を要し、計画の改定まではいかなかったが、次期計画の自転車ネットワーク路線選定の方向性について関係者と概ね合意が図れました。 自転車通行環境整備については、19km（総延長216km）の整備を実施しました。	さいたま市自転車ネットワーク整備計画を改定しました。 自転車通行環境整備については、16km（総延長232km）の整備を実施しました。	自転車通行環境整備については、15km（総延長247km）の整備を実施しました。
実績評価	B		B	B	B	B
実績評価の理由	計画的に効果検証を実施。次年度以降計画どおりに整備を進められるよう、検証結果に基づき、整備が進んでいない路線等の今後の方針を関係者と共有できたため。 自転車通行環境整備については、一部路線において年度内に完了することができず、翌年度に繰越となったため。		令和5年度の計画改定に反映できるスケジュールで、試験施工及び効果検証を進められているため。 自転車通行環境整備については、一部路線において年度内に完了することができず、翌年度に繰越となったため。	計画の改定については目標まで達していないが、自転車通行環境整備については、目標を上回った延長を整備したため、全体の実績評価はBとした。	計画の改定については目標から1年遅れての改定になったが、自転車通行環境整備については目標を上回った延長を整備したため、全体の実績評価はBとした。	自転車通行環境整備については、目標値の延長を整備したため、実績評価はBとした。

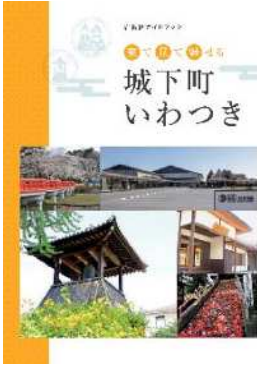
事業シート12				作成： 令和8 年 7 月							
取組テーマ		つなぐ		地域をつなぐ交通環境の向上		事業区分		継続			
事業名		岩槻中央通り線整備事業		事業期間		～令和9年度		所管 建設局土木部 道路計画課 道路環境課			
事業概要：						図・イメージ					
地域間の連携強化のため整備します。 (さいたま市岩槻区加倉1丁目、4丁目、 本町1丁目及び2丁目地内)											
事業目標及び事業方針											
【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・電線共同溝整備事業、歩道整備事業に取り組み、令和5年度までに整備区間の無電柱化を目指します。 ・また、事業完了に向けて、課題となっている未買収地の取得について取り組み、電線共同溝整備、歩道整備、車道整備工事を実施していきます。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・電線共同溝整備事業、歩道整備事業に取り組み、令和9年度までに整備区間の歩道整備、無電柱化を目指します。 ・事業に必要な用地を取得し、電線共同溝整備、歩道整備、車道整備工事を実施していきます。											
事業計画（工程表）											
		R3		R4		R5		R6		R7	
取組内容 目標値		・電線共同溝整備工事 ・街渠整備工事 ・用地買収 ・歩道整備工事		・用地買収 ・電線共同溝整備工事 ・歩道整備工事		・歩道整備工事 ・車道整備工事 ・用地買収 ・電線共同溝整備工事		・電線共同溝整備工事		・歩道整備工事	
取組実績		【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・電線共同溝整備工事、街渠整備工事を発注しました。 ・一部区間の電線、電柱を撤去しました。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・用地買収の推進及び歩道整備工事の実施、電線共同溝整備工事を発注しました。		【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・用地交渉を進めました。 ・車道舗装工事、歩道舗装工事を発注しました。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・用地買収の推進及び電線共同溝整備工事を実施しました。		【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・道路照明工事を発注しました。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・用地買収の推進及び電線共同溝整備工事を実施しました。		【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・無電柱化を推進するため、電線共同溝引込管委託を実施しました。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・用地買収の推進及び歩道整備工事を実施しました。		【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・無電柱化を推進するため、電線共同溝引込管委託を実施しました。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・用地買収の推進及び歩道整備工事を実施しました。	
実績評価		B		B		B		B		B	
実績評価の理由		【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・当初の目標の通り、電線共同溝整備工事、街渠整備工事を発注し、道路整備に伴う地域間の連携の強化に寄与したことから、上記評価としました。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・当初の目標の通り、用地買収の推進及び歩道整備工事の実施、電線共同溝整備工事に伴う地域間の連携の強化に寄与したことから、上記評価としました。		【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・当初の目標では、用地買収を予定しており、用地交渉を進めています。 ・また、車道舗装工事、歩道舗装工事を発注し、道路整備に伴う地域間の連携の強化に寄与したことから、上記評価としました。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・当初の目標の通り、用地買収の推進及び電線共同溝整備工事の実施により、道路整備に伴う地域間の連携の強化に寄与したことから、上記評価としました。		【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・当初の目標では、歩道整備工事や車道整備工事を予定しており、その一環として道路照明工事を発注しました。 ・そのため、道路整備に伴う地域間の連携の強化に寄与したことから、上記評価としました。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・当初の目標の通り、用地買収の推進及び電線共同溝整備工事の実施により、道路整備に伴う地域間の連携の強化に寄与したことから、上記評価としました。		【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・当初の目標では、令和5年度までに整備区間の無電柱化を予定しておりましたが、抜柱に向けた調整に時間を要しており、遅れが生じました。 ・ただ、無電柱化に向けた業務委託は着実に実施しており、道路整備に伴う地域間の連携の強化に寄与したことから、上記評価としました。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・用地買収の推進及び歩道整備工事の実施により、道路整備に伴う地域間の連携の強化に寄与したことから、上記評価としました。		【岩槻駅入口交差点より南西に550mの区間】 ・当初の目標では、令和5年度までに整備区間の無電柱化を予定しておりましたが、抜柱に向けた調整に時間を要しており、遅れが生じました。 ・ただ、電線共同溝整備工事は完了し、令和6年度から引き続き、無電柱化に向けた業務委託を着実に実施しており、道路整備に伴う地域間の連携の強化に寄与したことから、上記評価としました。 【加倉北交差点より北東に520mの区間】 ・用地買収の推進及び歩道整備工事の実施により、道路整備に伴う地域間の連携の強化に寄与したことから、上記評価としました。	

事業シート13				作成： 令和8 年 7 月		
取組テーマ		つなぐ	地域をつなぐ交通環境の向上		事業区分	継続
事業名	地下鉄7号線延伸		事業期間	～令和7年度	所管	都市戦略本部 未来都市推進部
事業概要：				図・イメージ		
地下鉄7号線（埼玉高速鉄道線）は、平成28年の国（交通政策審議会）の第198号答申で、浦和美園～岩槻～蓮田までの延伸が位置付けられており、先行整備区間の浦和美園駅～岩槻駅間で「埼玉スタジアム駅」、「中間駅」（目白大付近）、「岩槻駅」を新設する計画です。						
事業目標及び事業方針						
・都市鉄道等利便増進法に基づく鉄道事業者による申請手続の早期実施を目指します。						
事業計画（工程表）						
	R3	R4	R5	R6	R7	
取組内容 目標値	関係自治体との連携 会議の開催	速達性向上事業に関 する計画素案（案） 作成	鉄道事業者へ事業実 施要請	技術支援要請に基 づく計画の深度化	深度化を進め事業実 施要請に向けた協議	
取組実績	関係自治体との連携 会議を2回実施	速達性向上事業に関 する計画素案（案） 作成	鉄道事業者へ技術支 援要請	技術支援要請に基 づく計画の深度化	鉄道事業者へ速達性 向上事業の実施を要 請	
実績評価	B	B	C	B	B	
実績評価の理由	都市鉄道等利便増進法に基づく速達性向上事業の実施の要請に向けて、自治体連携会議を設置しました。要請者、費用負担の協議を開始し、計画素案の作成方針について協議しました。	自治体連携会議や、個別協議を踏まえた速達性向上事業に関する計画素案（案）を作成しました。	「鉄道事業者へ事業実施要請」を実施できませんでした。今後は、鉄道事業者から最新かつ専門的な知見の「技術支援」を受けながら、計画の深度化に向けた検討を進め、可能な限り早期に事業実施要請を行います。	埼玉県と共同で、鉄道事業者からの技術支援を受け、計画の深度化を実施しました。	埼玉県と連名で、都市鉄道等利便増進法の規定に基づき、鉄道事業者へ事業実施要請を行いました。	

事業シート14				作成：令和8年7月	
取組テーマ	つなぐ	関係人口増加を図る情報発信力の強化		事業区分	継続
事業名	岩槻区の観光PR	事業期間	～令和7年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室
事業概要：			図・イメージ		
関係団体や関係所管と連携しながら、岩槻の観光パンフレット等を岩槻区外で配布するなど、岩槻区の観光・イベント等をPRします。					
事業目標及び事業方針					
・岩槻区の観光PRを実施します。岩槻駅観光案内所や岩槻駅東西自由通路内のガラスケースなどを活用した観光PRを行っていくほか、市外・区外のイベント等に参加し観光PRを行います。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	岩槻散策マップの配布枚数 8,000枚	岩槻散策マップの配布枚数 8,500枚	岩槻散策マップの配布枚数 9,000枚	岩槻散策マップの配布枚数 9,500枚	岩槻散策マップの配布枚数 10,000枚
取組実績	岩槻散策マップの配布枚数 8,700枚	岩槻散策マップの配布枚数 17,300枚	岩槻散策マップの配布枚数 13,600枚	岩槻散策マップの配布枚数 26,300枚	岩槻散策マップの配布枚数 27,000枚
実績評価	A	A	A	A	A
実績評価の理由	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等後に岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	新型コロナウイルス感染症の行動制限が終わり、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	新型コロナウイルスの感染症法上の分類が引き下げられ、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。

事業シート15				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	つなぐ	関係人口増加を図る情報発信力の強化		事業区分	継続
事業名	観光案内サイン等の整備	事業期間	～令和7年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室
事業概要：			図・イメージ		
岩槻を訪れる観光客の利便性を向上させ、回遊性を高めるため、岩槻区内の名所・旧跡へ適切に誘導する歩行者系の観光案内サインの整備を行います。					
事業目標及び事業方針					
・岩槻区へ来た来訪者の利便性を向上させるため、木製案内サインの整備を行います。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	・木製案内サインの 設置累計 20枚	・木製案内サインの 設置累計 40枚	・木製案内サインの 設置累計 60枚	・木製案内サインの 設置累計 80枚	・木製案内サインの 設置累計 100枚
取組実績	・木製案内サインの 設置累計 27枚	・木製案内サインの 設置累計 52枚	・木製案内サインの 設置累計100枚	・木製案内サインの 設置累計142枚	・木製案内サインの 設置累計156枚
実績評価	A	A	A	A	A
実績評価の理由	慈恩寺地区の木製案内サインについて、予定数より多く設置することができました。今後は、他の地区の整備を引き続き実施します。	柏崎地区の木製案内サインについて、設置することができました。今後は、他の地区の整備を引き続き実施します。	柏崎、大戸・末田地区の木製案内サインについて、設置することができました。今後は他の地区の整備を引き続き実施します。	富士宿・村国地区、河合地区等の木製案内サインについて、設置することができました。今後は他の地区の整備を引き続き実施します。	岩槻・川通・新和・和土地区等の木製案内サインについて、設置することができました。

事業シート16				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	つなぐ	関係人口増加を図る情報発信力の強化		事業区分	継続
事業名	岩槻観光案内所運営事業	事業期間	～令和7年度	所管	経済局商工観光部 観光国際課
事業概要： 東武アーバンパークライン岩槻駅東西自由通路内にて岩槻観光案内所を運営します。			図・イメージ 		
事業目標及び事業方針 ・岩槻観光案内所を運営します。イベントや観光情報のパンフレットの配置・対面での観光案内のサービスを行います。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	岩槻観光案内所運営 観光資源の周知、周遊の促進	岩槻観光案内所運営 観光資源の周知、周遊の促進	岩槻観光案内所運営 観光資源の周知、周遊の促進	岩槻観光案内所運営 観光資源の周知、周遊の促進	岩槻観光案内所運営 観光資源の周知、周遊の促進
取組実績	パンフレットを案内・配布したり、来所者に観光資源を案内することで観光資源の周知・周遊を促進しました。	パンフレットを案内・配布したり、来所者に観光資源を案内することで観光資源の周知・周遊を促進しました。	パンフレットを案内・配布したり、来所者に観光資源を案内することで観光資源の周知・周遊を促進しました。	パンフレットを案内・配布したり、来所者に観光資源を案内することで観光資源の周知・周遊を促進しました。	パンフレットを案内・配布したり、来所者に観光資源を案内することで観光資源の周知・周遊を促進しました。
実績評価	B	B	B	B	B
実績評価の理由	観光資源の周知・周遊を促進したため。今後も観光国際協会と情報を共有し、観光資源の周知のために観光案内所を活用します。	観光資源の周知・周遊を促進したため。今後も観光国際協会と情報を共有し、観光資源の周知のために観光案内所を活用します。	観光資源の周知・周遊を促進したため。今後も観光国際協会と情報を共有し、観光資源の周知のために観光案内所を活用します。	観光資源の周知・周遊を促進したため。今後も観光国際協会と情報を共有し、観光資源の周知のために観光案内所を活用します。	観光資源の周知・周遊を促進したため。今後も観光国際協会と情報を共有し、観光資源の周知のために観光案内所を活用します。

事業シート17				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	つなぐ	関係人口増加を図る情報発信力の強化		事業区分	新規
事業名	岩槻区ガイドブックの活用	事業期間	～令和7年度	所管	岩槻区区民生活部 コミュニティ課
事業概要：			図・イメージ 		
区民との協働により10年ぶりに改訂を行った岩槻区ガイドブック「来て 見て 魅せる 城下町いわつき」を活用し、区内外の方に岩槻の地域資源を活かした魅力を紹介します。					
事業目標及び事業方針 ・豊かな自然と城下町としての歴史、人形文化など岩槻の地域資源を活かした魅力を紹介するガイドブックを市内公共施設に配架し、地域への愛着や誇りの醸成を築くことを目指します。また、イベント等を通して市外の方にも岩槻の魅力を発信します。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	ガイドブックの配布	ガイドブックの配布	ガイドブックの配布	ガイドブックの配布	ガイドブックの配布
取組実績	区内外の公共施設に配架しました。	区内外の公共施設に配架しました。	区内外の公共施設に配架しました。	区内外の公共施設に配架しました。	区内外の公共施設に配架しました。
実績評価	B	B	B	B	B
実績評価の理由	岩槻区の豊かな自然と城下町としての歴史、人形文化などを区の内外に発信しました。	岩槻区の豊かな自然と城下町としての歴史、人形文化などを区の内外に発信しました。	岩槻区の豊かな自然と城下町としての歴史、人形文化などを区の内外に発信しました。	岩槻区の豊かな自然と城下町としての歴史、人形文化などを区の内外に発信しました。	岩槻区の豊かな自然と城下町としての歴史、人形文化などを区の内外に発信しました。

事業シート18				作成：令和8年7月		
取組テーマ		つなぐ	関係人口増加を図る情報発信力の強化		事業区分	新規
事業名	岩槻人形博物館管理運営事業		事業期間	～令和7年度	所管	スポーツ文化局文化部 岩槻人形博物館
事業概要：				図・イメージ		
「人形のまち」として知られる岩槻で、人形文化の振興を図るため、岩槻人形博物館において、人と人形の歴史を調査・研究し、その成果について展示等を通じて広く公開することで、人々の人形への親しみを醸成し、人形文化を未来へと継承することを目的に、人形文化の拠点施設の管理運営を行います。						
事業目標及び事業方針						
・ 展覧会や講演会等を開催し、年間来館者数74,000人を目指します。						
事業計画（工程表）						
	R3	R4	R5	R6	R7	
取組内容 目標値	岩槻人形博物館来館者数 77,000人	岩槻人形博物館来館者数 74,000人	岩槻人形博物館来館者数 74,000人	岩槻人形博物館来館者数 74,000人	岩槻人形博物館来館者数 74,000人	
取組実績	岩槻人形博物館来館者数 29,254人	岩槻人形博物館来館者数 32,421人	岩槻人形博物館来館者数 39,656人	岩槻人形博物館来館者数 49,662人	岩槻人形博物館来館者数 35,575人	
実績評価	C	C	C	C	C	
実績評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数の制限や地域イベントの中止などから目標を下回りました。引き続き各事業と連携し、広報・プロモーション活動等の実施により、博物館の認知向上、人形文化の振興を推進します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数の制限や地域イベントの開催縮小などから目標を下回りました。引き続き各事業と連携し、広報・プロモーション活動等の実施により、博物館の認知向上、人形文化の振興を推進します。	展覧会を年4回実施し、講演会やワークショップ等を開催したこと及び新型コロナウイルス感染症による制限がなくなったことにより来館者数は過去最高となりました。引き続き各事業と連携し、博物館の認知向上、人形文化の振興を推進します。	展覧会を年4回実施し、そのなかで、現役人形作家の作品をテーマとした展覧会を実施しました。71日間で19,369人の方が来館し、年間来館者数は過去最高になったものの、目標値を下回る結果となりました。引き続き、各事業と連携し、博物館の認知向上、人形文化の振興を推進します。	国庫補助金等を活用し、岩槻の人形史をテーマにした初めての展覧会を開催しインバウンド等にも取り組みましたが、目標を達成できませんでした。引き続き、各事業と連携し、博物館の認知向上、人形文化の振興を推進します。	

事業シート19				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	つくる	多様な産業を生かした岩槻ブランドの開発		事業区分	継続
事業名	さいたま市伝統産業活性化事業	事業期間	～令和7年度	所管	経済局商工観光部 商業振興課
事業概要：			図・イメージ 		
さいたま市の貴重な財産である伝統産業及び伝統産業事業所を本市特有の地域資源として指定することにより、その存在と魅力を市内外に広く発信し、事業者の意欲向上及び後世への継承を図り、もって地域経済の活性化に取り組みます。					
事業目標及び事業方針 ・本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を市内外に発信し、その知名度向上を図るとともに、商業施設やイベント等への出店を支援し、事業者の意欲向上及び後世への継承を図ります。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信	ガイドブック・漫画冊子（電子版）周知用チラシの発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信
取組実績	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。	ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。	ガイドブック・漫画冊子（電子版）周知用チラシの発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。	ガイドブック・漫画冊子（電子版）の周知、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。
実績評価	B	B	B	B	B
実績評価の理由	計画どおり、ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。引き続き、本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を発信していきます。	計画どおり、ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。引き続き、本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を発信していきます。	計画どおり、ガイドブック・漫画冊子の発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。引き続き、本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を発信していきます。	ガイドブック・漫画冊子（電子版）周知用チラシの発行、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。引き続き、本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を発信していきます。	ガイドブック・漫画冊子（電子版）の周知、ウェブサイト及びSNSによる情報発信を行いました。引き続き、本市の伝統産業及び伝統産業事業所の魅力を発信していきます。

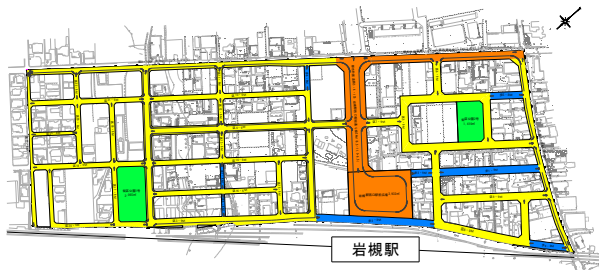
事業シート20				作成：令和8 年 7 月	
取組テーマ	つくる	多様な産業を生かした岩槻ブランドの開発		事業区分	継続
事業名	岩槻駅周辺地域活力創出事業	事業期間	～令和4年度	所管	都市戦略本部 未来都市推進部
事業概要：			図・イメージ		
岩槻に訪れる来訪者に対し、岩槻ならではのお土産品の商品開発や販売を行うための支援を行います。 また、令和元年度に完成した「岩槻土産ブランド」を起点として、岩槻区内の他の職人や作り手が参画し、自律的にお土産品の販売が拡充されるよう、PRなどの支援や調整を行います。			 委託販売の様子 (にぎわい交流館いわつき) 岩槻土産ブランド		
事業目標及び事業方針					
・東京オリンピック・パラリンピックなど、国内外から多くの観光客が見込まれることから、国内外から当地区へ訪れてもらうためのプロモーションの実施やおもてなしの醸成、またオリンピック開催以降も当地区に継続的に訪れてもらえる仕組みづくりを行い、交流人口の増加を図ります。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	岩槻土産ブランドの販売を起点として、各作り手が自律的に商品開発や販売を行う仕組みづくりを支援する。	岩槻土産ブランドの販売を起点として、各作り手が自律的に商品開発や販売を行う仕組みづくりを支援する。	－	－	－
取組実績	過年度に多言語対応化した「岩槻土産ブランド商品カタログ」を増刷し、市内公共施設等に配架しました。 また、岩槻土産の各作り手と、今後の自律的な商品開発や販売を行う仕組みづくりについて検討を行いました。	－	－	－	－
実績評価	B	-	-	-	－
実績評価の理由	多言語対応化した「岩槻土産ブランド商品カタログ」を広く配架することで、市内外に対し、岩槻の認知度向上、交流機会の増加を図ることができました。 今後も引き続き、岩槻土産ブランドを通して、岩槻の認知度向上、交流機会の増加を図りながら、自律的な商品開発や販売を行う仕組みづくりについて検討を行います。	岩槻土産ブランドの販売を起点として、地域事業者が自律的に商品開発や販売を行う仕組みが構築され、事業目的を達成したため事業を終了しました。	岩槻土産ブランドの販売を起点として、地域事業者が自律的に商品開発や販売を行う仕組みが構築され、事業目的を達成したため事業を終了しました。	岩槻土産ブランドの販売を起点として、地域事業者が自律的に商品開発や販売を行う仕組みが構築され、事業目的を達成したため事業を終了しました。	岩槻土産ブランドの販売を起点として、地域事業者が自律的に商品開発や販売を行う仕組みが構築され、事業目的を達成したため事業を終了しました。

事業シート21				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	つくる	多様な産業を生かした岩槻ブランドの開発		事業区分	新規
事業名	地元農産物の普及に向けた取組	事業期間	～令和7年度	所管	経済局農業政策部 農業政策課
事業概要：			図・イメージ  市民を対象とした花の寄せ植え講習会を実施		
事業目標及び事業方針 ・ 地場産農産物を使用した加工品を1品以上開発支援します。 ・ 市民向け地場産農産物に関する講習会を1回以上開催します。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	（取組内容） ①地場産農産物の加工品の開発支援 ②地場産農産物に関する講習会の開催 （目標値） ①1品以上 ②1回以上	（取組内容） ①地場産農産物の加工品の開発支援 ②地場産農産物に関する講習会の開催 （目標値） ①1品以上 ②1回以上	（取組内容） ①地場産農産物の加工品の開発支援 ②地場産農産物に関する講習会の開催 （目標値） ①1品以上 ②1回以上	（取組内容） ①地場産農産物の加工品の開発支援 ②地場産農産物に関する講習会の開催 （目標値） ①1品以上 ②1回以上	（取組内容） ①地場産農産物の加工品の開発支援 ②地場産農産物に関する講習会の開催 （目標値） ①1品以上 ②1回以上
取組実績	①6品 ②2回開催（令和3年6月23日及び令和4年1月19日）	①2品 ②2回開催（令和5年1月20日及び令和5年2月9日）	①2品 ①2回開催（令和5年6月20日及び令和6年2月8日）	①0品 ②2回開催（令和6年7月16日及び令和7年1月28日）	①1品 ②1回開催（令和8年1月27日）
実績評価	①A ②A	①A ②A	①A ②A	①C ②A	①B ②B
実績評価の理由	①目標値を上回って達成しました。引き続き、1品以上の加工品開発支援に取り組みます。 ②目標値を上回って達成しました。引き続き、年1回以上の開催をします。	①目標値を上回って達成しました。引き続き、1品以上の加工品開発支援に取り組みます。 ②目標値を上回って達成しました。引き続き、年1回以上の開催をします。	①目標値を上回って達成しました。引き続き、1品以上の加工品開発支援に取り組みます。 ②目標値を上回って達成しました。引き続き、年1回以上の開催をします。	①目標値を達成することができませんでした。1品以上の加工品開発支援に取り組みます。 ②目標値を上回って達成しました。引き続き、年1回以上の開催をします。	①目標値を達成しました。引き続き、1品以上の加工品開発支援に取り組みます。 ②目標値を達成しました。引き続き、年1回以上の開催をします。

事業シート22				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	つくる	岩槻の地域固有の魅力づくり		事業区分	継続
事業名	城下町岩槻歴史散策	事業期間	～令和7年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室
事業概要： 岩槻区の歴史的・文化的な観光資源等を巡り、その良さに ふれてもらうことで交流人口の増加を図ります。 (例) 「岩槻城大構の跡を歩く」、「城主ゆかりのお寺めぐり」			図・イメージ 		
事業目標及び事業方針 ・ 城下町岩槻歴史散策の開催により区外からの来訪者を増やします。散策内容の更新や散策ガイド「語り部会」の研修などにより、参加者の満足度90%以上とします。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%
取組実績	アンケート等による 参加者の満足度 94%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 94%	アンケート等による 参加者の満足度 92%
実績評価	A	B	B	A	A
実績評価の理由	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。

事業シート23				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	つくる	岩槻の地域固有の魅力づくり		事業区分	継続
事業名	岩槻散策マップ	事業期間	～令和7年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室
事業概要：			図・イメージ		
岩槻の見どころを掲載した既存の「岩槻散策マップ」について、マップ上の休憩施設や立ち寄り所の情報をより充実させるなどマップを更新しながら、観光客へ広く岩槻の魅力を発信し、交流人口の増加と地域活性化を図ります。					
事業目標及び事業方針					
・岩槻区への来訪者に対し観光PRを行います。そのため、岩槻駅観光案内所などで岩槻散策マップの配布を実施します。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	岩槻散策マップの配布枚数 8,000枚	岩槻散策マップの配布枚数 8,500枚	岩槻散策マップの配布枚数 9,000枚	岩槻散策マップの配布枚数 9,500枚	岩槻散策マップの配布枚数 10,000枚
取組実績	岩槻散策マップの配布枚数 8,700枚	岩槻散策マップの配布枚数 17,300枚	岩槻散策マップの配布枚数 13,600枚	岩槻散策マップの配布枚数 26,300枚	岩槻散策マップの配布枚数 27,000枚
実績評価	A	A	A	A	A
実績評価の理由	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等後に岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	新型コロナウイルス感染症の行動制限が終わり、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	新型コロナウイルスの感染症法上の分類が引き下げられ、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。

事業シート24				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	つくる	岩槻の地域固有の魅力づくり		事業区分	継続
事業名	半日観光ルート事業 (城下町岩槻ルート)	事業期間	～令和7年度	所管	経済局商工観光部 観光国際課
事業概要：			図・イメージ		
国内外から本市を訪れる観光客に対して、徒歩と公共交通機関を利用して回遊していただき、本市の魅力を広く周知すること、また、市民に対しても市内の観光資源などを再認識していただくことを目的としています。 「城下町岩槻ルート」(8ルートのうちの1つ) …東玉人形の博物館、愛宕神社、岩槻人形博物館・にぎわい交流館いわつき、時の鐘、岩槻城址公園、酒蔵資料館、遷喬館など					
事業目標及び事業方針					
・半日観光ルートパンフレットの配布や市ホームページへの掲載を行い、半日観光ルートのPRを実施することで、来訪者の周遊を促します。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	半日観光ルートのPR 観光資源の周知、周遊の促進	半日観光ルートのPR 観光資源の周知、周遊の促進	半日観光ルートのPR 観光資源の周知、周遊の促進	半日観光ルートのPR 観光資源の周知、周遊の促進	半日観光ルートのPR 観光資源の周知、周遊の促進
取組実績	・各区役所、新都心バスターミナル等にパンフレットを配架し、本市来訪客、市民の周遊を促進しました。 ・埼玉フェアといったイベントで配布し、市外での観光資源の周知を行いました。	・各区役所、新都心バスターミナル等にパンフレットを配架し、本市来訪客、市民の周遊を促進しました。 ・各種イベントで配布し、市外での観光資源の周知を行いました。	・各区役所、新都心バスターミナル等にパンフレットを配架し、本市来訪客、市民の周遊を促進しました。 ・各種イベントで配布し、市外での観光資源の周知を行いました。	・各区役所、新都心バスターミナル等にパンフレットを配架し、本市来訪客、市民の周遊を促進しました。 ・各種イベントで配布し、市外での観光資源の周知を行いました。	・各区役所、新都心バスターミナル等にパンフレットを配架し、本市来訪客、市民の周遊を促進しました。 ・各種イベントで配布し、市外での観光資源の周知を行いました。
実績評価	B	B	B	B	B
実績評価の理由	市内外でパンフレットを配布することで、本市の観光資源の周知や周遊促進ができたため。	市内外でパンフレットを配布することで、本市の観光資源の周知や周遊促進ができたため。	市内外でパンフレットを配布することで、本市の観光資源の周知や周遊促進ができたため。	市内外でパンフレットを配布することで、本市の観光資源の周知や周遊促進ができたため。	市内外でパンフレットを配布することで、本市の観光資源の周知や周遊促進ができたため。

事業シート25			作成： 令和8 年 7 月			
取組テーマ		たのしむ	地域を活性化するまちの更新		事業区分	継続
事業名	岩槻駅西口土地区画整理事業		事業期間	～令和17年度	所管	都市局まちづくり推進部 岩槻まちづくり事務所
事業概要：				図・イメージ		
さいたま都市計画事業 岩槻駅西口土地区画整理事業 施行面積：11.6ha 公共施設の概要 駅前広場 1 箇所 都市計画道路 309.1 m 区画街路 3,654.1m 特殊街路 438.2 m 街区公園 2 箇所						
事業目標及び事業方針						
・土地区画整理事業を推進し道路等の基盤整備を行うことで、岩槻駅前という立地を生かし商業の活性化と潤いのある住環境の形成を目指します。 ・必要な建物移転を行い、権利者の土地利用が図れるよう道路等の整備を進めます。						
事業計画（工程表）						
	R3	R4	R5	R6	R7	
取組内容 目標値	・建物等移転 ・水路改修、道路築造、造成工事等	・建物等移転 ・道路築造、造成工事等	・建物等移転 ・水路改修、道路築造、造成工事等	・建物等移転 ・水路改修、道路築造、造成工事等	・建物等移転 ・道路築造、造成工事等	
取組実績	・建物等移転 ・水路改修、道路築造、造成工事等	・建物等移転 ・道路築造、造成工事等	・建物等移転 ・水路改修、道路築造、造成工事等	・建物等移転 ・水路改修、道路築造、造成工事等	・建物等移転 ・水路改修、道路築造、造成工事等	
実績評価	A	A	B	C	C	
実績評価の理由	総振基本計画実施計画の目標値を達成した。 事業進捗率 目標88.4% 実績88.6% 道路整備率 目標43.7% 実績44.9%	総振基本計画実施計画の目標値を達成した。 事業進捗率 目標90.9% 実績78.6% （事業計画変更あり） 道路整備率 目標45.0% 実績46.5%	総振基本計画実施計画の目標値を達成した。 事業進捗率 目標81.0% 実績81.0%（見込） 道路整備率 目標46.4% 実績47.9%	総振基本計画実施計画の目標値を未達成。 事業進捗率 目標83.5% 実績82.4% 道路整備率 目標47.7% 実績47.9% 関係機関との連携、事業の効率化、周知活動を行い、事業の推進を図ります。	総振基本計画実施計画の目標値を未達成。 事業進捗率 目標85.9% 実績85.1% 道路整備率 目標49.1% 実績47.9% 関係機関との連携、事業の効率化、周知活動を行い、事業の推進を図ります。	

事業シート26				作成： 令和8 年 7 月							
取組テーマ		たのしむ		地域を活性化するまちの更新		事業区分		新規			
事業名		リノベーションまちづくり事業の推進		事業期間		～令和7年度		所管 都市戦略本部 未来都市推進部			
事業概要：						図・イメージ まちに増える 遊休不動産 (空家・空き店舗) リノベーションの 手法を用いて再生 一定のエリアにおいて複数の 遊休不動産再生を面的に展開 ・雇用の創出 ・コミュニティの再生 ・エリアの価値向上 まちのリノベーション ・初期投資を抑制できる ・スピードが速い ・事業性・収益性が高い					
事業目標及び事業方針											
・遊休不動産、公共空間等を活用した民間自立型リノベーション事業を生み出すための環境づくり及び支援を通じて、まちづくりの担い手となる人材の発掘・育成を行うとともに、多様な都市型産業の集積を図ります。また、リノベーションまちづくりの取り組みを地域で自律・自走させていくための体制づくりを進めます。											
事業計画（工程表）											
		R3		R4		R5		R6		R7	
取組内容 目標値		・講演会等により、事業の普及・啓発を実施 ・リノベーションスクールの開催等により、事業プランの作成及び実事業化への支援を実施		・講演会等により、事業の普及・啓発を実施 ・リノベーションスクールの開催等により、事業プランの作成及び実事業化への支援を実施		・講演会等により、事業の普及・啓発を実施 ・リノベーションスクールの開催等により、事業プランの作成及び実事業化への支援を実施		・講演会等により、事業の普及・啓発を実施 ・リノベーションスクールの開催等により、事業プランの作成及び実事業化への支援を実施		・講演会等により、事業の普及・啓発を実施 ・リノベーションスクールの開催等により、事業プランの作成及び実事業化への支援を実施	
取組実績		・講演会を3回、トークイベントを1回開催することで、事業の普及・啓発を図りました。 ・リノベーションスクールの開催及びその後のアフターフォロー等、事業プランの作成と実事業化への支援を実施しました。		・講演会を3回開催することで、事業の普及・啓発を図りました。 ・リノベーションスクールの開催及びその後のアフターフォロー等、事業プランの作成と実事業化への支援を実施しました。		・これまでのリノベーションまちづくりの取組による機運を活かしつつ、より事業の効果を高めるための仕組み作りについて検討を実施しました。 ・シンポジウムを実施し、これまでのリノベーションまちづくりの振り返りと今後実施する事業の内容の発表、地域で活躍する実践者の意見交換を実施しました。		・岩槻リノベ塾と、いわつき小商いの学校を開催し、新たに地域で活躍する民間プレイヤーの発掘・育成を図りました。 ・遊休不動産の調査を行い、その後創業希望者と不動産オーナーのマッチングを実施しました。 ・シンポジウムを実施し、年度内の取組の共有や意見交換を実施しました。		・岩槻リノベ塾を開催し、新たに地域で活躍する民間プレイヤーの発掘・育成を図りました。 ・遊休不動産の調査とともに、不動産オーナーの意見聴取を行いました。また遊休不動産の活用に係る、課題整理を行いました。 ・シンポジウムを実施し、年度内の取組の共有や意見交換を実施しました。	
実績評価		A		A		A		A		A	
実績評価の理由		リノベーションスクール対象案件2件が令和4年度中に事業化予定となっており、その他にも、スクール修了生による自主的な活動が生まれ始めています。 今後も、エリアの価値を高め、地域を再生していくため、複数の事業化を進めながら、まちづくりの担い手となる人材の発掘・育成を行います。		リノベーションスクール対象案件が事業化に向けて検討中となっており、その他にも、スクール修了生による自主的な活動が生まれ始めています。 今後も、エリアの価値を高め、地域を再生していくため、事業化を進めながら、まちづくりの担い手となる人材の発掘・育成を行います。		・事業を継続可能なものとするための仕組み作りを検討すること、リノベーションまちづくりの取組を地域で自立・自走させていくための体制づくりにつなげました。 ・シンポジウムを開催することで、これまでの取組を地域で共有するとともに、事業の今後の進め方について普及・啓発を行いました。		・岩槻リノベ塾に参加したプレイヤーと不動産オーナーをマッチング後、事業化に向けて検討を進めている。また岩槻リノベ塾やいわつき小商いの学校へ参加したプレイヤーが、マルシェへの参加や、既存の店舗の空き時間を活用した出店などを行っています。		・岩槻リノベ塾に参加したプレイヤーが既存の民間プレイヤーと協力し、新たな事業を生み出す動きが生まれています。また岩槻駅東西自由通路でのマルシェへの出店や、ボックスショップいわボケの出店などを行うプレイヤーが生まれました。	

事業シート27				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	たのしむ	地域を活性化するまちの更新		事業区分	新規
事業名	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組	事業期間	～令和7年度	所管	都市局まちづくり推進部 岩槻まちづくり事務所
事業概要：			図・イメージ		
さいたま市が、2019年8月に「ウォーカブル推進都市」に登録されたことを踏まえ、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を目指すため、公共空間や空き地等の未利用地の有効活用をはかり、まちなかのにぎわいや、安全で安心して楽しむことができるまちづくりにつなげる方策を検討、推進します。					
クレセントモールでのイベント					
事業目標及び事業方針					
・居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を目指します。また、地域の多様なニーズに応えるため、道路空間の利活用の更なる高度化、良好な道路景観の形成、及び民間団体等との連携による価値・魅力の向上に取り組みます。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組の調査検討	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組の調査検討	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組の調査検討	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組の調査検討	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組の調査検討
取組実績	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組の調査検討	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組の調査検討	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組の調査検討	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組の調査検討	ウォーカブルなまちづくりに向けた取組の調査検討
実績評価	B	B	B	B	B
実績評価の理由	岩槻駅周辺地区都市再生整備計画（ウォーカブル推進事業）を策定しました。	岩槻駅周辺地区都市再生整備計画（ウォーカブル推進事業）に位置付けられた事業に取り組みました。	岩槻駅周辺地区都市再生整備計画（ウォーカブル推進事業）に位置付けられた事業に取り組むとともに、「ほこみち」について研究等を行いました。	岩槻駅周辺地区都市再生整備計画（ウォーカブル推進事業）に位置付けられた事業に取り組みました。	岩槻駅周辺地区都市再生整備計画（ウォーカブル推進事業）に位置付けられた事業に取り組むとともに、「ほこみち」について研究等を行いました。

事業シート28			作成： 令和8 年 7 月		
取組テーマ	たのしむ	多様な交流の場や機会の創出		事業区分	継続
事業名	いわつき・夢・コンサート	事業期間	～令和6年度	所管	岩槻区区民生活部 コミュニティ課
事業概要：			図・イメージ		
音楽文化の振興と岩槻駅周辺商店街の活性化、さらに区民の絆づくりに向け年4回いわつき・夢・コンサートを開催します。					
事業目標及び事業方針					
・音楽文化の振興と岩槻駅前のにぎわいの創出が図られるよう、年4回いわつき・夢・コンサートを開催し、来場者満足度90%を目指します。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	年4回開催し、来場者満足度90%	年4回開催し、来場者満足度90%	年4回開催し、来場者満足度90%	年2回開催し、来場者満足度90%	—
取組実績	新型コロナウイルス感染症の影響により開催場所の変更や延期等を余儀なくされましたが令和4年1月15日、2組に出演いただき開催することができました。 来場者満足度90%	・5月20日開催 来場者満足度91% ・9月6日開催 来場者満足度100% ・1月28日開催（2組開催） 来場者満足度94%	・5月23日開催 来場者満足度100% ・8月21日開催 来場者満足度89% ・1月27日開催（2組開催） 来場者満足度98%	・5月21日開催 来場者満足度97% ・8月21日開催 来場者満足度92%	—
実績評価	B	A	A	A	—
実績評価の理由	参加者から高い評価を得ているため、継続して事業を行います。	来場者から高い評価を得ているため、継続して事業を行います。	来場者から高い評価を得ているため、継続して事業を行います	当事業が民間で実施可能であること、当初の目的を達成したと判断したため、今年度で終了となりました。	—

事業シート29				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	たのしむ	多様な交流の場や機会の創出		事業区分	新規
事業名	にぎわい交流館いわつきの活用	事業期間	～令和7年度	所管	経済局商工観光部 経済政策課
事業概要：			図・イメージ		
岩槻の歴史及び文化の発信、産業及び観光の振興並びに地域活性化の拠点として、にぎわい交流館いわつきの管理運営を行うとともに、地域のにぎわいの創出に寄与する魅力的な事業を実施します。					
事業目標及び事業方針					
・地域のにぎわいの創出に寄与する魅力的な事業を実施することで、年間15万人の来館者を目指します。 ・指定管理者制度を活用することで民間事業者のノウハウ等を取り入れ、集客力のある事業や効率的な管理運営を行います。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	（取組内容） 地域のにぎわいの創出に寄与する魅力的な事業の実施 （目標値） 来館者数 年間15万人	（取組内容） 地域のにぎわいの創出に寄与する魅力的な事業の実施 （目標値） 来館者数 年間15万人	（取組内容） 地域のにぎわいの創出に寄与する魅力的な事業の実施 （目標値） 来館者数 年間15万人	（取組内容） 地域のにぎわいの創出に寄与する魅力的な事業の実施 （目標値） 来館者数 年間15万人	（取組内容） 地域のにぎわいの創出に寄与する魅力的な事業の実施 （目標値） 来館者数 年間15万人
取組実績	（取組内容） 岩槻の文化等をテーマとした制作体験講座や地域の団体等と連携した事業を実施しました。 （実績値） 来館者数 175,345人	（取組内容） 岩槻の文化等をテーマとした制作体験講座や地域の団体等と連携した事業を実施しました。 （実績値） 来館者数 180,302人	（取組内容） 岩槻の文化等をテーマとした制作体験講座や地域の団体等と連携した事業を実施しました。 （実績値） 来館者数 197,570人	（取組内容） 岩槻の文化等をテーマとした制作体験講座や地域の団体等と連携した事業を実施しました。 （実績値） 来館者数 235,793人	（取組内容） 岩槻の文化等をテーマとした制作体験講座や地域の団体等と連携した事業を実施しました。 （実績値） 来館者数 189,630人
実績評価	A	A	A	A	A
実績評価の理由	来館者数が目標を上回ったため、A評価としました。今後も目標を達成できるよう、魅力的な事業の実施や適正な管理運営を行います。	来館者数が目標を上回ったため、A評価としました。今後も目標を達成できるよう、魅力的な事業の実施や適正な管理運営を行います。	来館者数が目標を上回ったため、A評価としました。今後も目標を達成できるよう、魅力的な事業の実施や適正な管理運営を行います。	来館者数が目標を上回ったため、A評価としました。今後も目標を達成できるよう、魅力的な事業の実施や適正な管理運営を行います。	来館者数が目標を上回ったため、A評価としました。今後も目標を達成できるよう、魅力的な事業の実施や適正な管理運営を行います。

事業シート30				作成：令和8 年 7 月		
取組テーマ		はぐくむ	都市マネジメントの導入		事業区分	新規
事業名	まちづくりのプラットフォーム構築・支援		事業期間	～令和7年度	所管	都市局まちづくり推進部 岩槻まちづくり事務所
事業概要：				図・イメージ		
産学官民など様々な立場、知識をもった人たちが集まり、岩槻の魅力向上に向けて取り組む場となる「まちづくりのプラットフォーム」の構築、運営を支援し、岩槻ならではのまちづくりを推進します。						
事業目標及び事業方針						
・まちづくりに関わる多様な人材や団体が集い、既存の取組や団体が連携することで新たな活動や価値を生み出す場となる「まちづくりのプラットフォーム」の立上げや運営を支援します。						
事業計画（工程表）						
	R3	R4	R5	R6	R7	
取組内容 目標値	プラットフォーム立上げ準備	プラットフォーム立上げ支援	プラットフォーム運営支援	プラットフォーム運営支援、組織化支援	プラットフォーム運営支援、組織化支援	
取組実績	まちづくりプラットフォームに関する勉強会開催	まちづくりプラットフォームの立ち上げ及び社会実験やシンポジウムの実施	岩槻駅周辺でまちづくり活動を行っている団体への支援実施	岩槻駅周辺でまちづくり活動を行っている団体への支援実施	岩槻駅周辺でまちづくり活動を行っている団体への支援実施	
実績評価	B	B	B	B	B	
実績評価の理由	まちづくりプラットフォームについて勉強会を開催し、地域で活動されている方から意見聴取等を行いました。	まちづくりに携わる地域の方々と、プラットフォームの今後の方向性などの検討を行うとともに、社会実験やシンポジウムを実施しました。	地域の若手事業者が中心となった「岩槻まちの戦略会議」の活動を支援しました。	「岩槻まちの戦略会議」の活動を支援しつつ、他自治体や、まちづくり会社を招待し、空き店舗調査やまちづくりの事例等の勉強会を実施しました。	「岩槻まちの戦略会議」の活動を支援しつつ、他自治体のホコミチ制度の視察を行った。まちなかミーティングを2回開催し、中心市街地活性化ビジョン（イラスト）を作成した。	

事業シート31				作成： 令和8 年 7 月	
取組テーマ	はぐくむ	次世代に継承するまちづくり		事業区分	継続
事業名	人形づくり体験	事業期間	～令和6年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室
事業概要：			図・イメージ 		
熟練人形師の指導のもと、経済産業大臣指定伝統的工芸品・江戸木目込人形を製作することで、参加者に地域の伝統文化への認識を深める機会となります。					
事業目標及び事業方針 ・PR活動をさらに推進し、区民だけでなく区外・市外の方に対しても人形のまち岩槻の魅力発信を行います。人形づくり体験の参加者満足度90%以上とします。					
事業計画（工程表）					
	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	アンケート等による 参加者の満足度 90%	—
取組実績	アンケート等による 参加者の満足度 98%	アンケート等による 参加者の満足度 95%	アンケート等による 参加者の満足度 94%	アンケート等による 参加者の満足度 98%	—
実績評価	A	A	A	A	—
実績評価の理由	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	参加者から高い満足 を得ているため、継 続して事業を行いま す。	にぎわい交流館で同 様の事業を行っている ため、今年度限り で事業を廃止とし た。	—

事業シート32				作成： 令和8 年 7 月			
取組テーマ		はぐくむ	次世代に継承するまちづくり		事業区分	新規	
事業名		伝統文化や産業の継承		事業期間	～令和7年度	所管 教育委員会事務局 生涯学習総合センター 岩槻本丸公民館	
事業概要：				図・イメージ			
岩槻区内の公民館において、岩槻区の歴史や文化、伝統産業、自然、農産物等の歴史的・文化的資源についての講座を開催し、地域への理解と知識を深めるとともに、地域の魅力や価値の再発見を次世代へ継承することを目的とします。				  			
事業目標及び事業方針							
・岩槻区内公民館において、岩槻区の歴史や文化、伝統産業、自然、農産物等の岩槻の歴史的・文化的知識を深めるための講座を開催し、アンケート等による満足度80%以上の達成を目標とする。							
事業計画（工程表）							
	R3		R4		R5	R6	R7
取組内容 目標値		岩槻区内公民館において岩槻区の歴史的・文化的知識を深める講座を開催する。 目標値：アンケート等による満足度80%以上		岩槻区内公民館において岩槻区の歴史的・文化的知識を深める講座を開催する。 目標値：アンケート等による満足度80%以上		岩槻区内公民館において岩槻区の歴史的・文化的知識を深める講座を開催する。 目標値：アンケート等による満足度80%以上	
取組実績		岩槻区の歴史的・文化的知識を深めるため、木目込み人形づくり講座や岩槻産野菜を使った料理教室、岩槻の歴史についての写真展等9講座を開催し、アンケートによる満足度100%を達成しました。		岩槻区の歴史的・文化的知識を深めるため、木目込み人形づくり講座や野菜ソムリエ講師による岩槻産野菜を使った料理教室、岩槻の文化財を訪ねるウォーキング講座等9講座を開催し、アンケートによる満足度99%を達成しました。		岩槻区の歴史的・文化的知識を深めるため、木目込み人形づくり、和菓子づくり及び慈恩寺地区をめぐる講座等7件を開催しました。地域の市民活動団体と連携して「岩槻本丸地域発見セミナー」を開講しました。その講座のアンケートの満足度は85.7%を達成しました。	
実績評価		A		B		B	
実績評価の理由		アンケート等による満足度80%を上回った数値を達成できたため、次年度以降も満足度の高い講座を継続して開催します。		アンケート等による満足度80%を上回った数値を達成できたため、次年度以降も満足度の高い講座を継続して開催します。		アンケート等による満足度80%を上回った数値を達成できたため、次年度以降も満足度の高い講座を継続して開催します。	